

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	建設課
課 名	建設課

預算	款	項	目	決算書	
	8	5	2	184	頁

目 名
住宅建設費

事務事業名称
住宅・建築物安全ストック形成事業

1. 概要

目的	住宅・建築物の最低限の安全性の確保を図る	対象	申請者
事業概要	○住宅・建築物安全ストック形成事業 昭和56年度以前建築の危険住宅の耐震診断補助・耐震改修補助、市営住宅のアスベスト調査 ・耐震診断補助 1棟 ・耐震改修補助 4棟 ・市営住宅アスベスト調査67検体分手数料		

臨時／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	住宅・建築物安全ストック 形成事業	木造住宅耐震診断・改 修、市営住宅アスベ スト調査	負担金補助 及び交付金	5,445	5,445	4,837			608	3
計				5,445	5,445	4,837	0	0	608	

2. 指標設定

成果指標	指標名	公営住宅等長寿化計画に基づく居住環境整備	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—		—	社会資本整備総合交付金交付要綱に規定する住宅・建築物安全ストック形成事業による			
活動指標	指標	a	耐震診断補助	b	耐震改修補助	c	アスベスト調査補助	d
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
公営住宅等長寿化計画に基づく居住環境整備		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
a 耐震診断補助		—	—	1
b 耐震改修補助		—	—	4
c アスベスト調査補助		—	—	67
d				

課題	
実施予定戸数の把握が難しい	
対応（改善点等）	
事業の周知に努める	

4. 課題と対応

5. 事業費・・・H 2 1～H 2 3（決算額）、H 2 4（予算現額）

決 算 額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		628	0	5,445	3,400
財源内訳	国 費	148		3,630	925
	県 費	305		1,207	1,537
	市 債				
	そ の 他				
	一般財源	175		608	938
うち経常					
事業費に係る人件費		427	438	430	429

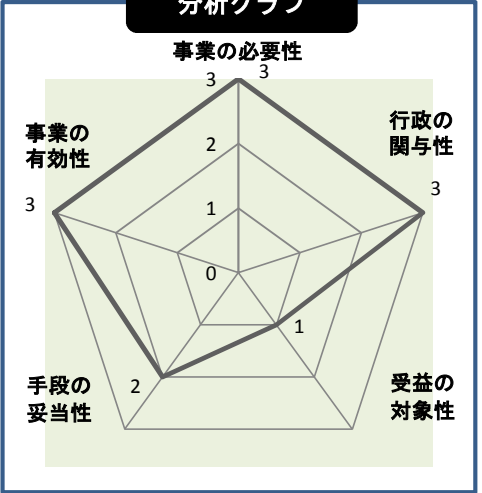
6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
県からの配分に準ずる

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	家屋の倒壊は生命に係わるため必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	家屋の倒壊を防ぐために国の現行建築基準に合わせる必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1	申請者に限られる
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2	事業の周知が難しい
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	事業を行うことにより確実に家屋の倒壊は防げる

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	市民からの申請による事業実施であるが、事業内容の周知に努めること